

子供は未来の守護者

校長 稲垣 達也

御入学の季節が近づいてまいりました。学校では、皆様が不安なく入学の日を迎えられるように準備をすすめています。御家族全体で感染症予防を徹底するなど、入学までの日々を健康に過ごし、4月6日（月）入学式、お子さんがにこやかな笑顔で校門をくぐることを、教職員一同、心よりお待ちしております。

本校の教育目標

安全はすべてに優先する

一人に一つ命 大切に！

子供たちが安全で、安心した学校生活を送ることが最重要です。子供の生命を、すべてに優先させます。

- ◎ よく考える子
- 思いやりのある子
- 健康な子
- すすんで働く子

自ら学びに向かい、創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く子
すすんで挨拶し、自分も他の人も尊重し、敬意をもって大切にできる心豊かな子
基本的な生活習慣を身に付け、運動に親しみ、心身共に健康で活力に満ちた子
未知の課題を思索し、新たな価値観や行動を生み出し、協働して未来を創造する子

子供は未来の守護者

子供は未来の守護者です。未来社会を担い、社会を形成していくのは、今の子供たちに他なりません。その子供たちを育てる仕事は、未来からの負託であり、私たち大人は教育の結果に責任をもたなければなりません。それは、学校教育も、家庭教育も同じです。

子供叱るな 来た道だもの 年寄り笑うな 行く道だもの
来た道 行く道二人旅 これから通る今日の道 通り直しのできぬ道

作者不詳

国家百年の計は教育にあり

「教育は国家百年の大計」とも言われ、教育は、目先の成果を追うものではなく、長期的視点で遠くに目標を据えて行うものです。私たち大人は、自らの教えがすぐに成果となって表われることを期待するのではなく、時を経て子供が成長した暁に実を結ぶように、教育を実践することが大事です。

学力の高い子供

子育ては、あせらず、あきらめず、のんびりと。

本を読む子、新聞を読む子、朝食を食べる子、テレビ等の視聴や携帯電話等の使用時間が短い子、同じ時刻に寝起きしている子、忘れ物をしない子、これらの子供たちは学力や運動能力が高い傾向にある、という調査結果があります。しかし、「毎日朝食を食べれば学力が上がる」というわけではありません。これらに共通することは『子供の自律的な生活習慣』です。もちろん、子供の自律/自立と称して、親が子育てを放棄する口実にしてはなりません。このことは、「過保護」と「過干渉」の違いとも言えます。

子育て四訓

乳児はしっかり 肌を離すな 幼児は肌を離せ 手を離すな
少年は手を離せ 目を離すな 青年は目を離せ 心を離すな

作者不詳

子どもが育つ魔法の言葉

ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス著 石井千春訳（PHP）

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる
親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる 広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる